

## 福島第一原子力発電所 2号機トールラス室調査に伴う穿孔作業について

### トールラス室調査の目的

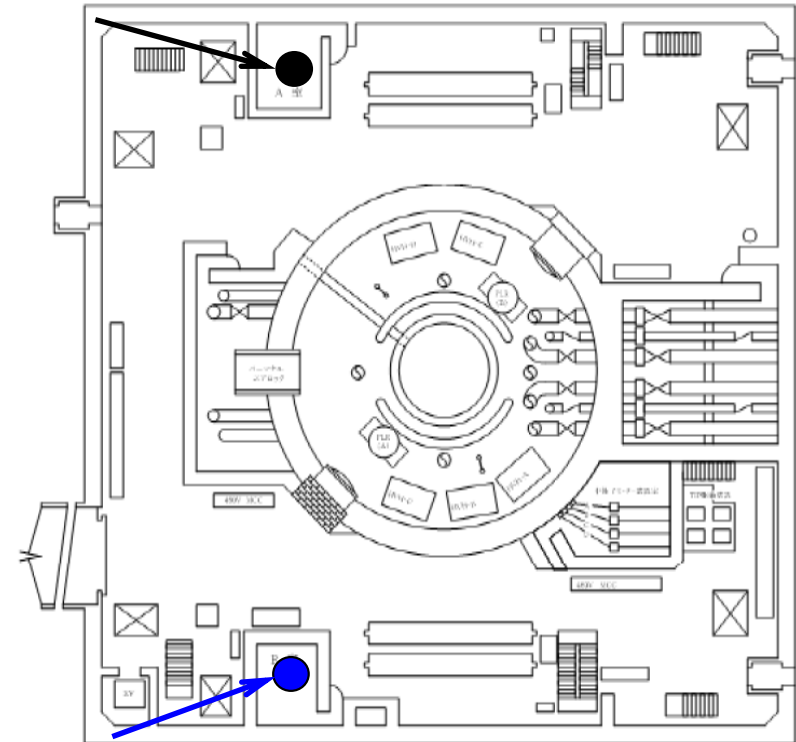
トールラス室の雰囲気、滞留水および堆積物の基礎データを取得し、格納容器調査・補修装置設計へのフィードバックおよびトールラス室への燃料デブリ拡散の有無を確認（試行）することが目的。

### 2号機穿孔作業の経緯

- 1/27・1/28、原子炉建屋1階北側RHR（A）熱交換器室に穿孔。（右図の●箇所）
  - ✓ 干渉物（配管、グレーチング等）の存在を確認。
- 穿孔箇所を再検討し、原子炉建屋1階南側RHR（B）熱交換器室の下部について、調査可能な設計情報（施工図、工事報告書等）を再確認および4足歩行ロボットの小型走行車カメラ（ベント管下部周辺調査で使用）で撮影したトールラス室南西部天井付近の映像を確認。
- 確認の結果、調査の支障となりそうな干渉物が確認されなかったことから、当該箇所を穿孔することとした。（右図の●箇所）
- 3/24・3/25に穿孔を実施予定。

2号機1階床穿孔作業予定（1日当たり）  
計画線量：3mSv/人 人数：約30人

前回(1/27・28)穿孔箇所



今回穿孔箇所

2号機原子炉建屋1階

### 2号機穿孔場所